

## びわ湖トラスト親子環境学習講座 ～湖岸調査～ 報告書



認定 NPO 法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2025年7月29日(火)  
 後援 : 大津市教育委員会  
 助成 : 公益財団法人 平和堂財団  
 参加者 : 20組 42名 (大人:22名 ・ 子供:20名)  
 スタッフ : 11名 (講師・ボランティアスタッフ含む)

## 当日の日程

	Aグループ	Bグループ
9:00	受付	
9:25	開校式(オリエンテーション)	
9:50	カヌー体験	生き物調べ
10:50	休憩と移動	
11:05	生き物調べ	カヌー体験
		休憩
12:15	閉校式(アンケート)	
12:35	解散	



当日の活動場所。赤丸は集合場所のオーバル。白で囲った部分が生き物調べの場所。カヌー体験はオーバル前の湖岸で開催。

## 【全体】

今回は20組40名の募集に対し、44組92名の応募があったことから、認知度が上がっていることが示唆される。

参加者には10組ずつAグループとBグループに分かれていただき、それぞれ生き物調べとカヌー体験を交互に行った。

今回も、近畿大学の亀甲武志准教授と研究室の学生3名に生き物調べを実施していただいた。加えて、研究に使っ

ている標本や天神川で採集した魚類の展

示も行っていただいた。カヌー体験ではオーバルのスタッフの皆さんに協力いただいて、無事楽しく実施することができた。今回は、(公財)平和堂財団常務理事 千秋章造氏にもご参加いただき、実施状況の視察をしていただいた。



参加者とスタッフの集合写真

## 【生き物調べ】

当日は、昨年同様集合場所であるオーパルから生き物調べの現場(雄琴川)まで班ごとに移動して実施。当日は、炎天下の中熱中症の危険もあること、加えて早かった梅雨明け後ほとんど雨が降らず川の水量もかなり減少していたことなどもあり、実際に川に入って採集を行う時間は各グループ約30分をめぐにした。これによってオーパルに戻ったあと、しっかりと休憩を取ってもらうことができたと思う。加えて、休憩時間を利用して採れたた生き物について説明を行うことができた。これによって採集が楽しかっただけではなく、実際に自分らで採集した生き物についての知識も得ることができ、たいへん喜んでもらえたと思う。

先にも書いたが今回は雨が極端に少なく、琵琶湖の水位が大きく低下していたことに加え、河川水量もかなり減少していたことから、昨年と比較して採集された魚類はカワムツ、トウヨシノボリ、ウキゴリと種類数も個体数も少なかった。ただ、魚類以外にスジエビやタイコウチ、マシジミと言ったさまざまな生物が採集され、参加した子どもたちは大いに喜んでいて。また、たくさん獲れたヌマエビ科のエビ類やアメリカザリガニなど、外来生物が多かったことなども印象に残ったようである。

2025.7.29. 雄琴川で採捕できた生き物	
和名	学名
カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>
トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.</i> OR
ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>
スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>
ヌマエビ科	Atyidae
アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>
タイコウチ(幼虫)	<i>Laccotrephes japonensis</i>
コヤマトンボ(幼虫)	<i>Macromia amphigena</i>
コオニヤンマ(幼虫)	<i>Sieboldius albardae</i>
マシジミ	<i>Corbicula leana</i>
カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>



### 【カヌー体験】

集合後、全員がライフジャケットを着用し、カヌー乗り場へ移動した。

インストラクターからは、オールの握り方や水のとらえ方、足の置き方、ライフジャケットの正しい装着方法、1人乗りと2人乗りカヌーの違い、そして万一転覆した場合の安全な対処法まで、実演を交えて説明が行われた。

準備を終えると、参加者同士で協力してカヌーを岸まで運び、順番に琵琶湖へ漕ぎ出した。初めは進行方向が定まらず左右に振られる姿もあったが、次第に呼吸が合い、オールさばきも滑らかになっていった。特に2人乗りでは声を掛け合うことで動きがそろい、まっすぐ進めるようになった。

湖岸近くでは一面に水草が広がり、水面から顔を出す葉や茎をかき分けながら進む感覚が新鮮だった。ヨシが生い茂っているエリアでは生き物探しも行い、小魚が群れを成して泳ぐ姿や、水草の間をすり抜けるエビなどを観察できた。時にはカヌー同士で水を掛け合い、笑い声が響く場面もあった。浅瀬ではカヌーから降りて足元の水を感じながら遊ぶ参加者も多く、和やかな雰囲気に包まれた。

天候は穏やかで水面も静か、青空の下で思い思いにパドルを進め、景色と水の感触を存分に楽しむことができた。



### 【改善ポイント!?!】

- ・ 生き物調査で使ったたも網の破損がかなりあり対策が必要ではないか。
- ・ 採れた生き物について説明のやり方の工夫。
- ・ 参加費徴収の可能性の検討(アンケートより)。